

【 省エネ建物の必要性 】

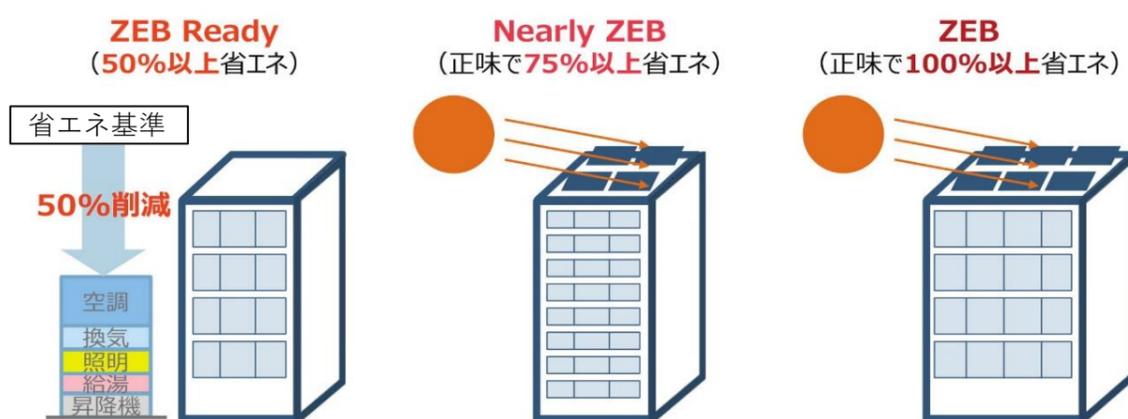
- ・東日本大震災以降、我が国のエネルギー需要は、一層逼迫しております。
他部門（産業・運送）が減少する反面、建築部門のエネルギー消費量は著しく増加しており、省エネ対策の強化が必要不可欠なことから、ZEBの実現と普及展開が求められています。
2014年に閣議決定した「エネルギー基本計画」において、「建築物については、2020年までに新築公共建築物等で、2030年までに新築建築物の平均で、ZEBを実現することを目指す」とする政策目標が設定されました。

【 ZEBとは 】（ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル））

- ・快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮蔽・自然エネルギー利用・高効率設備等の採用で省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間で消費する建築物のエネルギー量が大幅に削減されている建築物のことです。

【 ZEB建築物の種類 】

- ・『ZEB Ready』 『ZEB』を見据えた先進建物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネ設備を備えた建物
- ・『Nearly ZEB』 『ZEB』に限りなく近い建物として、ZEB Readyの要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた建物
- ・『ZEB』 年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建物



【出典】経済産業省ホームページ

【 省エネ建物支援実績（設計施工） 】

建物用途	都道府県	新築 既設	延べ床	階数	竣工	環境配慮技術の採用
事務所	滋賀県	新築	510.78 m ²	2	2018.7	<ul style="list-style-type: none"> ・全熱交換機 ・高効率照明 ・人感センサー制御 ・タイムスケジュール制御 ・節水便器 ・自動水栓 ・潜熱回収型ガス給湯器 ・遮熱断熱塗装 ・Low-E 複層ガラス
事務所	愛知県	新築	1971.57 m ²	4	2018.6	<ul style="list-style-type: none"> ・デシカント空調 ・高効率照明 ・初期照度補正 ・人感センサー制御 ・昼光センサー制御 ・タイムスケジュール制御 ・節水便器 ・自動水栓 ・Low-E 複層ガラス